

# 元気一番！商店街

2014.2  
第28号

## 1 はじめに

まだまだ寒さが厳しい日も続いておりますが皆様いかがお過ごしでしょうか、体調管理には十分お気を付けてください。

「元気一番！商店街」では、寒い日にも足を運びたい、元気な商店街の情報をお伝えしていきたいと思っておりますので、引き続きご愛読をよろしくお願ひします。

## 2 三国新道商店街振興組合（淀川区）

さて、本号では、阪急宝塚線三国駅の東側に位置する「三国新道商店街振興組合（淀川区）」に伺い、商店街の取組みに加え、理事長がお勧めするお店「力餅 菓の香(かのか)」取材してきました。

商店街の位置



### (1) 商店街活性化への取組み

当該商店街は、東側に隣接する三国三進商店街振興組合、三国新三商店街振興組合とともに「サンティフルみくに」の愛称で、地元で親しまれています。

商店街は、蔵を店舗にした質屋が存在するほか、創業から60年を超える老舗が今も営業しているなど、大変歴史がある商店街です。

三国新道商店街振興組合



コミュニティスペース外観



これまで、商店街活性化に向けて、夏には「風鈴ストリート」を実施するほか、特に地域コミュニティの活性化には積極的に取り組んでおり、地域の方々との交流の場としてトイレ付きのコミュニティスペースを昨年11月から今年1月末まで設置するなど、地域の町会等と連携して様々な活動に取り組まれています。

蔵を改造した店舗



## (2) 三国新道商店街振興組合理事長へのインタビュー

理事長の小林さん



三国新道商店街振興組合理事長の小林さんに、商店街の取り組み等について伺いました。小林さんによれば、「三国新道商店街は戦後からの老舗も営業しており、歴史のある商店街であるとともに、地域に密着しており、お客様の多くが顔なじみです。最近では、近隣に大型スーパーが進出するなどの環境の変化や、地域住民の高齢化、商店街の後継者不足など、課題も多くなっています。廃業する老舗店舗も出てきている状況で、空き店舗の解消にも取り組まなければならず、難しい問題もありますが、

今後は、各個店の店主の教育等を通じた商店街全体としてのレベルアップを図りつつ、商店街組織の一体感を高めていくことが必要と考えています。」

これまでも理事長自身が地域の活動に参加し、放置自転車対策など、地域課題の解決に積極的に取り組んでこられており、商店街だけでなく、地域住民や近隣地域のことも強く意識し、「三国がもっともっと良い地域となり、住人がどんどん増えていって欲しい。」と力強く語っていただきました。

## (3) 「力餅 菓の香 (かのか)」

商店街の西側入口からほど近いところに「力餅 菓の香」があります。もとは、おはぎなどの和菓子も取り扱う食堂として営業していたところ、設備の導入等を契機に、現在の和洋菓子の専門店とされたようです。同店は、一般的な焼き菓子等の他に、似顔絵やイラスト等のキャラクターをあしらったデコレーションケーキも販売しており、店主の小林さんによれば、「作り始めたきっかけは、お客様から『似顔絵のケーキを作って欲しい』という要望があったことで、今では北海道から沖縄まで、日本中にお届けする看板商品となっています。」とのこと。

店舗の壁には、これまで手掛けたケーキの写真が貼られており、これまでに約 3,500 もの注文を受けられてきたそうです。また、その隣には、多くのお礼の手紙が掲示され、顧客から大変好評であることが伺えます。

店主の小林さん



これまでに手掛けたキャラクターケーキの数々



「お客様がケーキを見たときに、驚き、喜んでくれる姿を見るのがやりがいいです。今後は、このケーキをもっと多くの人に知ってもらうとともに、新たな市場の獲得にも挑戦していきたいです。」

他ではお目に掛かれないオリジナルケーキ、当商店街に訪れた際には、皆様も一度ご覧ください。

壁に貼られたお礼の手紙

